

東口しかなかったころの東松山駅

— 昭和40年 —



30年間以上、東松山駅から都内まで通勤していました。

——— 水島 寛さん (大谷)

戦時中から昭和50年代まで東松山駅を利用して都内まで通勤していました。電車の中で友だちがたくさんでき、車内で歌を歌ったりしたのは楽しい思い出です。今では考えられませんね。当時は駅前に街頭テレビがあり、プロレスなどの放送日には大勢の人が集まって、人が通れなくなるくらいでしたよ。

I commuted to Tokyo from the mid-1940's through the mid-60's. I made many friends on the train. Sometimes we'd even sing as we rode along or gather in front of the station to watch pro-wrestling on TV. This would probably never happen today.

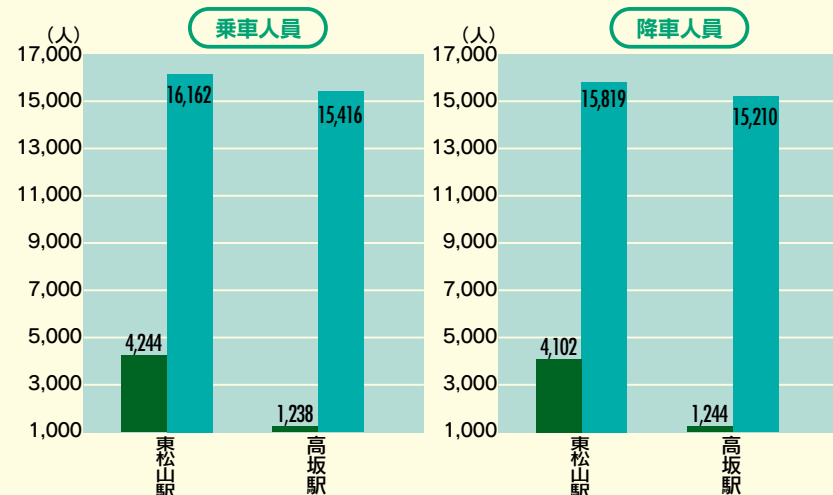
DATA

生活環境の50年

東松山駅・高坂駅乗降客数

東武東上線の東松山駅の1日の乗降客数は約4倍に、高坂駅では約12倍も増えました。また、鉄道以外の公共交通として昭和29年当時、熊谷行バス・西平行バスのほか、滑川馬車も運行していました。

■ 昭和29年
■ 平成14年



安全な快適環境都市へ

東松山市では、豊かな自然を守り、誰もが住みやすいまちづくりを市民の皆さんと協力して進めています。

すべての皆さんに配慮した道路や公共施設の整備は、毎日を快適に過ごすための第一歩です。市では快適な住環境を実現するため、今後も計画的な事業を展開していきます。さらに、万一災害が起きたときには適切な対応ができるように、防災施設の充実、情報基盤の整備などに

努め、必要な準備をしています。

また、ISO14001の認証を取得し、市役所全体で環境配慮に率先して取り組んでいるほか、「環境まちづくり宣言」を行い、市民と事業所、行政が丸となった環境にやさしいまちづくりを進めています。同時に、市内および周辺地域の豊かな自然環境を利用して、市民の憩いの場を整備しています。

The city strives to preserve nature and provide a comfortable living environment for all residents. Streets and public facilities are the fundamental. Facilities and the information infrastructure are being improved to deal appropriately with disasters. Having received ISO 14001 certification, environmental friendliness is actively promoted in the city hall and throughout the city. The city also makes good use of its natural environment that encourages relaxation.



環境フェア Environmental Fair

環境フェアは環境にやさしいまちづくりを推進するシンポライトとして、市民と事業者、行政と一緒に開催しています。たくさんの市民が手づくりで開催しているこのフェアは、回を重ねるごとに来場者も増え、リサイクルフリーマーケットなどは、たくさんの人で賑わいます。

ごみの分別収集 Separating waste matter by content

ステーション方式により、可燃物、ビン・カン、ペットボトル・プラスチック類、紙・布類、不燃物の5分別収集を実施し、ごみの減量化と資源の有効利用に努めています。



市内循環バス Municipal Loop-line Bus

交通空白地域の解消と、商店街や公共施設等へのアクセスを確保するため、1乗車100円の市内循環バスが、市民の足として利用されています。

防災訓練 Disaster Training

市民参加の防災訓練は、災害の種類、規模に応じた的確な対応が講じられるように、消火活動や救護活動など本格的な訓練を行っています。

